

地域人材ネット

世界から選ばれるファンづくり型地域振興

藤川 遼介 (ふじかわ りょうすけ)

株式会社エピテック 代表取締役 社長



○ 登録者情報

所在地

神奈川県横浜市

略歴

【経歴】

2012年 東京農業大学国際食料情報学部 卒業
2014年 一橋大学大学院商学研究科 修了
株式会社エピテックを起業し、代表取締役 社長 就任
2020年 相模女子大学大学院 社会起業研究科 アドバイザーボード 就任
2021年 相模女子大学 非常勤講師 就任

【専門家認定】

2019年～ 総務省 地域力創造アドバイザー
2018年～ 観光庁 広域周遊観光ルート専門家
2017年～ RRPF 地域創生プラットフォーム スペシャリスト プロフェッショナル登録

【受賞歴】

・地方創生☆政策アイデアコンテスト 2016
全国第1次審査 四国 大学生以上一般の部 チーム入賞「地域経済を6次産業で元気にする。」

著書・論文等

「農村地域住民と都会の若者を地域アクターとする地域デザインの共創ー地域アクターズプロデューサーの役割に焦点を当ててー」、藤川遼介・稲泉博己・大室健治、『地域デザイン』(第12号 209頁-227頁)
「横浜ユースを通じたオープンイノベーションの可能性」、藤川遼介、松富瑞樹(2015)、『横浜市調査季報』(176号、60-62頁)

○ 世界から選ばれるファンづくり型地域振興

取組の内容

地域住民の地域への想いを形にし、ファンを呼び込む「ファンづくり型地域振興」を広めています。「地縁とご縁を結ぶ機会づくり」というキャッチコピーを掲げ、日本各地の地域プロジェクトに特色を持たせ、地域住民と地域ファン同士の交流を促す機会づくりを行っています。

近年、もっとも多くの相談を受けているコンテンツは、「Googleなどで検索されやすい動画づくり」です。ターゲットに届ける動画づくりをテーマに全国における活動のPRサポートを行っています。他にも「ご当地バレーボール大会」を核とした地域コミュニティづくりや「Social Design Girls 17」のプロデュースを手掛け、全国の大学生と活動を展開しています。

地域活動を円滑に進めるためには、国や行政の方針を読み解き計画を組む「地域コミュニティプランナー」、地域住民をプロデュースしファンを呼び込む「地域アクターズプロデューサー」、地域住民に寄り添い調整を図る「地域グラウンドマネージャー」の3タイプの役割を持った人が分担・兼務することが重要だと考えています。

全国の地域活動において、明確な指針づくりと役割分担を行い、自らも伴走しながら地域振興サポートを手がけ

実績

【地域活動実績】

○大阪府河内長野市(2021年～進行中)

新形コロナウイルスの影響を受けてしまった観光分野の復興に向けた調査活動を行い、地域住民と体験企画の考案やPRを手掛けています。

○千葉県香取市(2020年～進行中)

農村活性に向けたコミュニティ創造を手掛けています。将来的には、成田空港に近い好立地を活かしながら、全国各地との連携を視野に入れ、関係人口向上を見据えています。

○栃木県那須塩原市(2019年～進行中, 2014-2015)

湯治場として伝統ある板室温泉の新たな取り組みとしてワーケーション普及の活動をサポートを行っています。作成した動画は、Google検索で「栃木県 ワーケーション」などのキーワードで動画部門検索1位となり、様々な問い合わせを全国から受けるようになりました。

○岩手県二戸市(2018年～進行中)

テロワール推進事業の一環として、酒米・酒蔵・漆器などの製造から嗜むまでのストーリー構築サポート及び東北の若者が地域活動にチャレンジできる機会づくりを行っています。関係人口向上に向け、仙台・盛岡・八戸などの大学生との連携などを行っています。

○大分県宇佐市(2017年～進行中)

世界農業遺産に選ばれた山間地形やため池を活用した農法の魅力発信及び資源循環型農法の魅力を地域住民と広めています。関係人口向上に向け、近隣の大学生との連携などを行っています。

○福井県南越前町(2017年～進行中)

ゲストハウス計画策定業務として、地域体感宿構想を提案しました。開業した宿は、コロナ禍においてもオンライン宿泊など積極的に新しいサービスを展開しています。

○京都府南丹市(2016年～)

ふるさとテレワーク推進事業の構成企業として参画し、廃校活用や学生が楽しく地域参画するための「クエスト」という新しい地域との関わり方を提案しています。

○茨城県筑西市(2014年～)

「ご当地バレーボール大会」を地域住民と考案しました。この企画は、規模が毎年拡大し、全国各地で姉妹大会が開催され、地域間連携を行っています。企画をきっかけに茨城県筑西市を訪れた人数は、のべ1500人を超えています。「ご当地バレーボール大会」は、全国各地で姉妹大会が開催され、2019年度は7か所で開催・開催計画がなされました。2016年度、訪れる大学生がより地域で活躍しやすい環境を作るため、地域おこし協力隊ビジョン策定及びサポート業務として、学業両立モデル・月8勤務の地域おこし協力隊制度を設計しました。

○山形県朝日町(2012年～)

2014年4月にリニューアルされたWebページのユーザー目線でのレイアウト考案研究を学生時代に行いました。調査は、すべての自治体Webを調査し、選定した10市町村へヒアリング調査を行いました。2020年2月、冬バージョンの「ご当地バレーボール大会」として、雪不足や新型コロナウイルスの影響で中となりましたが、雪中大会を計画しました。

【その他活動地域】

○富山県砺波市(2013年～)

○神奈川県横浜市(2014年～)

○千葉県鴨川市・君津市・南房総市(2016年～)

○東京都町田市(2018年～)

○福島県いわき市(2018年～)

○大阪府羽曳野市(2019年～)

○北海道岩見沢市(2019年～)

※交流を持った地域住民との定期的な交流を大切にしています。

工夫した点や苦労した点

目標に向け、努力・笑顔・感謝を大切にすることに尽きます。今の私は、地域住民をはじめ共に活動してくださった方々の支えがあってこそ私です。全てが勉強・経験であり、地域活動を通して、大変であっても苦労を感じたことはありません。

ひとことPR

人を惹きつけるために大切なことは、楽しい・嬉しい・美味しいなどポジティブな感情を抱いてもらうことです。人の心を動かす活動を地域住民とポジティブに続けることこそが、ファンを増やす秘訣だと思います。才能を磨き、素養(社会性・論理性・主体性)を身に着けた人を共に学び合い育むことを目標に活動しています。未来を明るくするポジティブの連鎖を繋げるお手伝いを一緒にさせてください。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
○ その他 ご当地バレーボール大会発起人	○ その他 資源循環型農法の実践
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
○ その他 子育て支援施設向けの食育企画などの実践	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
○ 働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他	○ その他 「Social Design Girls 17」プロデューサー
11.自治体経営イノベーション	12.シティブロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	○ その他 動画SEOブランディング
その他	

関連ホームページ

エピテック Webページ	https://apitec.jp/
地方創生詞「Broup」	https://broup.net/
YouTubeチャンネル	https://www.youtube.com/channel/UCxpTQwuCFT6U55zuH21ri6A
相模女子大学大学院 社会起業研究科	https://www.gsse-sagami.jp/

連絡先

メールアドレス	{アットマーク}	お問合せフォーム	https://apitec.jp/contact/
---------	----------	----------	---

※メールを送る際には[アットマーク]を「@」に変えてください。